

## 第2学年音楽科指導案

令和2年10月9日(金)第5校時  
越知小学校 2年  
男子7名、女子17名計24名  
授業者

### 1. 学習指導要領との関連

#### 2 内容 A 表現

(3)音楽づくりの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)をできるようにすること。

(イ) どのように音を音楽にしていくかについて思いをもつこと

イ 次の(ア)及び(イ)について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くこと。

(イ) 音やフレーズのつなげ方の特徴

ウ 発想を生かした表現や、思いに合った表現にするために必要な次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。

(ア) 設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能

(イ) 音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能

[共通事項]

音色、リズム、反復、呼びかけとこたえ

### 2. 題材名 祭り囃子の音楽をつくろう

教材 『青森ねぶた囃子』 『村まつり』(教育出版 2年)

### 3. 題材について

本教材の『青森ねぶた囃子』は、篠笛、太鼓、手振り鉦の3つの楽器で演奏されている。太鼓のリズムの反復や太鼓と篠笛の旋律との重なりが分かりやすく、普段、児童にとって馴染みのないお囃子の雰囲気も感じやすいと考え、鑑賞教材として取り上げた。祭り囃子での太鼓のリズムや旋律に親しみながら、リズムを友だちとつなげたり鍵盤ハーモニカで日本固有のヨナ抜き音階(五音音階)の中から(ラ・ド・レ)の3つの音を用いて即興的に友だちと演奏し合ったりして協働的に自分たちの音楽をつくっていくことをねらいとしている。

本学級の児童は意欲的に音楽の授業に取り組むことができる。児童は、これまでに「かくれんぼ」「やまびごっこ」で呼びかけとこたえを学習してきた。また、自分の名前やくだもの名前を拍に合わせてさまざまなリズムでまねっこリレーをしながら即興的に表現してきた。そして、鍵盤ハーモニカで(ド・レ・ミ)の3つの音を用いて、ペアやグループで音楽の仕組みである「呼びかけとこたえ」を使ってお話をするような即興的な簡単な旋律づくりを経験している。これまで即興的に表現することを大切に、様々な活動に取り組んできたが、友だちと思いを共有して音楽をつくりあげていく経験はまだ少ない。

指導にあたっては、まず、『青森ねぶた囃子』の音楽を鑑賞し、お祭りの雰囲気を感じさせるとともに太鼓の音色やリズムの特徴、また、笛でお話をしているような様子を聴き取らせる。次に、太鼓のリズ

ムを口唱歌で即興的に表現させることによって、一方的に教師からリズムを提示するのではなく、児童が見つけたリズムから太鼓のリズムパターンをつくっていきけるようにする。そして、ペアや4人グループでリズムパターンを反復させたり組み合わせたりすることによってお祭りのリズムの音楽をつくっていく。その際、「どうして反復しようと思ったの？」や「どうしてこのリズムとこのリズムを組み合わせようと思ったの？」と問いかけることによって音楽づくりにおける児童の思いを引き出していく。さらに、つくったリズムパターンに「呼びかけとこたえ」のお話になるように即興的な旋律を重ねていく。自分たちの祭り囃子をつくることによって協働して音楽活動をする楽しさを引き出していきたい。

本時では、4人のグループに分かれて4分の4拍子、8小節の祭り囃子の音楽をつくっていく活動を行う。導入では口唱歌でリズムのリレーを行い、リズムパターンを確認する。そして、グループに分かれて、これまでの学習を想起させながら、リズムパターンを反復させたり組み合わせたりしながら2小節の太鼓のリズムパターンをつくっていく。次に、そのリズムパターンに即興演奏を重ねていく。2人はリズムを演奏し、2人は鍵盤ハーモニカで3つの音(ラ・ド・レ)をつかって1小節ずつお話をするように即興的に演奏する。一度に各グループが演奏すると自分たちたちの演奏が聴き取りにくくなるためばちをマレットに変えてたたくといった手立てを講じていく。リズムパターンをたたくことが苦手な児童に対しては、1小節ずつ友だちと交代しながら演奏することを助言したり、教師がいっしょにリズムパターンをたたいたりすることで、無理なく活動できるよう支援を行う。中間発表として、他のグループの工夫や面白さに気づき、自分たちの音楽をもっとよくしたいという思いを引き出すために聴き合う場を設定する。本時の終わりには、「世界で一つだけの自分たちのお祭りの音楽ができそうだね。」と伝え、次時への意欲化を促す。

#### 4. 題材の目標

- (1)太鼓の音やリズムのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。
- (2)音色、リズム、反復、呼びかけとこたえを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもつ。
- (3)お祭りの太鼓のリズムに興味・関心をもち、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら音楽づくりの学習活動に取り組んでいる。

#### 5. 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>知</b>太鼓の音やリズムのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。</p> <p><b>技</b>思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。</p>	<p><b>思</b>音色、リズム、反復、呼びかけとこたえを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。</p>	<p><b>態</b>お祭りの太鼓のリズムに興味・関心をもち、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。</p>

## 6. 指導と評価の計画(全5時間)

時	学習内容	評価規準
1	○『青森ねぶた祭』の曲を聴き、太鼓のリズムの面白さを見い出す。 ・聴こえてきた太鼓のリズムを声で表したり、手で打ったりする。	<b>知</b> 音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。
2	○『村まつり』をお祭りの気分で生き生きと歌い、出てくる太鼓のリズムを知る。 ○太鼓のリズムパターンを考え、口唱歌でリズムに慣れ親しむ。 ・グループでリズムパターンをつなげて遊ぶ。	<b>態</b> お祭りの太鼓のリズムに興味・関心をもち、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。
3	○グループでリズムパターンをつなげてお祭りの音楽(太鼓のリズム)をつくる。	<b>技</b> 思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。
4 (本時)	○自分たちでつくった太鼓のリズムパターンにラ・ド・レの3音を用い、「呼びかけとこたえ」の即興的な旋律を重ねて、お祭りの音楽づくりをする。	<b>思</b> 音色、リズム、反復、呼びかけとこたえを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。
5	○自分たちのお祭りの音楽をよりよくしていく。 ○グループでつくった音楽を聴き合う。 ・それぞれのグループの表現のよさを伝え合い、自分たちでつくった音楽をふり返る。	<b>技</b> 思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。

## 7. 本時の学習(4/5時間)

### (1)目標

○グループで太鼓のリズムを反復させるなど、音楽の仕組みを用いて簡単な「お祭りの音楽」をつくることができる。

### (2)評価規準

**思**リズム、反復、呼びかけとこたえを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。

### (3)準備物

和太鼓、ばち、マレット、リズムパターンカード、音楽の仕組み掲示用カード

(4)展開

学習活動	○教師の働きかけ □評価規準
<p>1. ペアで「アルプス1万じゃく」と「おちやらかほい」を音楽に合わせて手遊びしながら歌う。 (常時活動)</p> <p>2. リズムリレーをする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・口唱歌で</li><li>・手打ちで</li><li>・ラ・ド・レの3音で</li></ul> <p>3. 本時の課題をつかむ。</p>	<p>○速度や強弱を変え、伴奏することによって音楽の要素を想起させるとともに、常時活動を通して、音楽を楽しもうとする気持ちを引き出していく。</p> <p>○自分の思いをもって進んで表現できるように友だちと違う工夫をしようとした児童を取り上げ称賛する。</p>
<p>自分たちのお祭りの音楽をつくろう。</p>	
<p>4. 4人グループに分かれて8小節のお祭りの音楽をつくる。</p> <p>①役割分担をする。</p> <p>②2小節の太鼓のリズムパターンをつくり4回反復する。</p> <p>③(ラドレ)の3音で即興的に演奏し、リズムパターンに重ねる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"><div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div><div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div><div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div></div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"><div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 20px;"></div><div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div><div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 20px;"></div></div> <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 20px; margin: 10px 0;"></div> <p>5. 聴き合う。(中間発表)</p> <p>6. ふり返りを行う。</p>	<p>○これまで児童がつくったリズムのリズムカードを用意し、児童が手元でつなげたり、並び替えたりできるようにする。</p> <p>○鍵盤ハーモニカで1小節ずつお話をするように演奏することを伝える。</p> <p><b>思</b>リズム、反復、呼びかけとこたえを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。</p> <p>○他のグループの工夫や面白さや良さを表現させることによって、自分たちの音楽をもっとよくしていきたいという思いを引き出していきたい。その際、音楽の要素や仕組みを使って表現している児童を称賛し、音楽的な価値づけもしていく。</p> <p>○次時への意欲付けを図るような言葉がけをする。</p>